各実行委員（組織）の取り組み

公益社団法人北海道森と緑の会 ····95
公益財団法人オイスカ ·····96
NPO法人森林遊びサポートセンター ·····97
北海道水産林務部森林環境局森林活用課 ···98
札幌市環境局みどりの推進部みどりの推進課···99
札幌市教育委員会 ·····100
林野庁·····101
北海道森林管理局·····102

公益社団法人 北海道森と緑の会

公益社団法人 北海道森と緑の会

地球の温暖化、自然災害の防止、水資源の確保など、地球環境から身近な環境にいたる様々な問題に、森林は密接な関わりを持っており、今ほど森林の保全が求められているときはありません。しかしながら、森林を守っていくためには、森林所有者の努力だけでは難しい時代になっており、今ほど道民一人ひとりの力が必要とされている時もありません。

私たち、北海道森と緑の会では、「『緑の募金』でふせごう地球温暖化」をスローガンに「緑の募金」活動に取り組むとともに、道内の森林の保全や街路、学校などの身近な緑環境の整備に取り組んでいます。

森と緑の会の活動

○北海道の森づくりの取り組み

- 市民参加の植樹会の開催
- ボランティア団体が行う植樹や育樹などの森づくり活動への助成、
- 地域での緑づくりを支援する「グリーンコーディネーター」の派遣
- 「企業の森」づくりのコーディネートなど、企業がCSR活動の一環として行う森づくり活動を支援

市民参加の植樹会

企業の森づくり

○子供たちを対象にした森林環境教育の取り組み

- みどりの少年団交流大会の開催
- 幼稚園児などへの木育活動
- 児童生徒を対象にした緑化活動啓発作品コンクールの実施

緑の少年団交流大会

幼稚園児によるドングリの種まき

ポスター原画コンクール

○森林所有者に向けた林業に関する技術情報、地域情報を提供する広報誌「山つくり」の発行や研修会開催など

お問い合わせ・連絡先

公益社団法人北海道森と緑の会　〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目 林業会館

TEL 011-261-9022　FAX 011-261-9032

E-mail morimidori@h-green.or.jp　URL http://www.h-green.or.jp

公益財団法人 オイスカ

公益財団法人 オイスカ

オイスカは1961年に日本で創立され、主にアジア・太平洋地域を中心に、農業などを通じた人材育成や、持続可能な地域開発、植林などの環境保全活動を展開し、創立から52年目です。1993年には世界のNGOを代表して国連「地球サミット賞」を受賞致し、今年の「Rio+20」にも参加しております。

活動としては、特に開発途上国の青少年の育成に力を入れ、昨年度は海外研修センターにて651名、日本国内で129名に農業などの研修を行いました。研修を修了した数万人におよぶ研修生OBは、各界にて活躍しており、地域の農業技術の普及に携わる人も大勢います。また、1980年に開始した海外植林活動では、累計で17,391ha（皇居の面積の約120倍）を緑化しました。日本国内でも森林保全活動（今年度21県40ヵ所で実施）や、間伐材を利用して行う「森のつみ木広場」（昨年度21県、129ヵ所で開催）などを実施しております。

また、東日本大震災を受けて、2011年には「海岸林再生プロジェクト」を立ち上げました。被災地住民や行政、林業事業体や支援者と協働・連携し、2012年3月、100ha相当、50万本の育苗を目指す第1歩としてクロマツを播種し、現在名取市内での育苗が進められています。

海外では「子供の森」計画、国内では学校林保全活動

1991年より、海外版学校林活動とも言える「子供の森」計画を、32の国と地域、4,601校にて実施しております。子どもたち自身が、学校の敷地や隣接

地で苗木を植え育てていく実践活動を通じて「自然を愛する心」「緑を大切にする気持ち」を養いながら、地球の緑化を進めています。この活動に対しては、財団法人ベルマーク教育助成財団「友愛援助」を通じて、全国の学校からもご支援を頂いております。

また、国内の学校林保全活動は2000年より開始しており、現在では、青森、宮城、山梨、東京、神奈川、長野、静岡、岐阜、愛知、富山、大阪、兵庫にある合計23校の小・中学校において、教育現場での体験学習が安定的して継続できるように、森林整備とともに、「学校林保全委員会」などの組織立ち上げのサポートなども行っています。

オイスカ北海道支部でも17年前から植林活動を継続し、約２万本の植樹を延べ3,400人の手で行いました。8年前からは「森のつみ木広場」活動を40回実施し、小学校での行事に加えて行うグループホームの高齢者と児童会館の学童児童とのコラボレーションは多くの感動を生んでいます。オイスカ北海道支部は海外への支援活動に加え、国内での育林活動・環境教育活動・人づくり活動を継続的に展開しています。行事への協力者を求めています。

（北海道支部：〒062-0931 札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F）
（TEL 011-867-9684／ FAX 011-867-9685／ e-mail oisca-h@lake.ocn.ne,jp ）

お問い合わせ・連絡先
公益財団法人オイスカ啓発普及部　〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-5
TEL 03-3322-5161　FAX 03-3324-7111
E-mail oisca@oisca.org　URL http://www.oisca.org/

特定非営利活動法人 森林遊びサポートセンター

森林遊びサポートセンター

平成3年の新春に、森を愛し森に親しむ同志が集い「札幌森友会」が発足し、平成15年5月に北海道知事から「特定非営利活動法人　森林遊びサポートセンター」の認証を受けました。

活動のテーマは、安全快適!“環境保全貢献とふれあい活動で癒しと励みを育み、生き甲斐増進を図る”こととし、活動内容は次の三本の柱を中心に取り組んでおります。

1. 地球温暖化防止の「森林を守り育てる」活動

国有林・北海道有林・札幌市都市環境林等7地域で、地ごしらえ・植樹・下刈・除伐・保護活動・実践学習等を年間延べ25回程実施しております。

2. 「子どもたちの森林環境教育」活動

札幌市立小学校三校の学校林で、地ごしらえ・植樹・下刈・子ども樹木博士認定・自分の木選定・しいたけ栽培・ツリークライミング・冬の森観察等を年間延べ20回程実施しております。

3. 「自然ふれあい癒しと励みを育む」活動

札幌市近郊から北海道一円の名所旧跡・景勝地・渓谷・湿原・山岳・名湯訪問等の旅を年間延べ26回程実施しております。

この他今回の全国子どもサミットや北海道の森づくりネットワークの集い、中国学生交流団の森づくり体験交流の受け入れ等のお手伝いもしております。

このような活動を23年間継続し、25年9月末現在で実施延べ回数1,644回で、延べ参加人数40,622人に至りました。

このような社会貢献活動で、林野庁長官や北海道知事2回、札幌市長等の表彰も受けて、このごほうびを励みにして「森を守り育てる」・「子どもたちの森林環境教育」・「自然ふれあい癒しと励みを育む」等の社会貢献活動をさらに努めてまいります。

お問い合わせ・連絡先
特定非営利活動法人森林遊びサポートセンター　〒061-2284 札幌市南区藤野4条2丁目5番32号
TEL FAX 011-592-1030
E-mail fumio@rapid.ocn.ne.jp　URL http://www.moriasobi.jp

北海道水産林務部 森林環境局 森林活用課

北海道水産林務部 森林環境局 森林活用課

「木育（もくいく）」は、平成16年度に北海道と道民による「木育推進プロジェクトチーム」により検討・提案された北海道発の新しい言葉です。

木育とは、子どもをはじめとするすべての人が、『木とふれあい、木に学び、木と生きる』取組であり、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育む取組です。

北海道の木育は、身近な森林とそこから生み出される木材などの「恵み」に目を向け、人と、森林や木材の「つながり」を重視することにより、豊かな感性と思いやりの心を育む『人づくり』と、人と「木」が深い絆で結ばれる「木の文化」が息づく『社会づくり』を目指しています。

木育の発信

道では、木育のホームページやメールマガジン「わくわく！木育通信」を通じて、木育の理念や考え方はもとより、木育関連イベント、道の取組や地域の活動などの情報を提供しているほか、木育活動団体の紹介を行っています。

<北海道の木育　ホームページアドレス>
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sky/mokuiku/index.htm

また、木育推進プロジェクトチームのメンバーが中心となり発足した民間組織「木育ファミリー」との協働により、木育パンフレットの作成や木育体感広場の開催など、連携した取組を進めています。

北海道の木育ホームページ

木育マイスターの育成

道では、平成22年度から、木育活動に関するアドバイザーやコーディネイターの役割を担う「木育マイスター」を育成しています。

木育マイスターの活動事例　「道南木育フェスタ」の開催
（平成24年10月8日　七飯町）

これまでに114名（平成22年度～24年度）の木育マイスターを育成しており、木育を伝えるスペシャリストとして各地域で活躍しています。

民間企業等との協働による木育の取組

民間主体の継続的な木育を促進するため、道では、民間企業等が木育をテーマとした商品やサービスを提供する取組を行う際に必要な情報提供や技術的支援を行っています。

「木育ひろばinマルヤマクラス」の開催風景
（平成24年10月27日～28日　札幌市中央区）

木育に取り組む民間企業等については、道の木育のホームページで紹介しています。

道では、木育を生活に根ざした息の長い道民運動として推進していくため、道民の皆様やNPO、企業や行政など、さまざまな方々との協働により取組を進めています。

お問い合わせ・連絡先
北海道水産林務部 森林環境局 森林活用課 木育推進グループ
〒060-8588　札幌市中央区北3条西6丁目
TEL 011-204-5515　FAX 011-232-4142　E-mail suirin.katsuyo2@pref.hokkaido.lg.jp

札幌市の森づくり

札幌市では、市民などとの協働による森づくりを進めるため「さっぽろふるさとの森づくり事業」を展開しています。この事業では、大きく以下の4つの取り組みを進めています。

①さっぽろふるさとの森づくり植樹祭

市民植樹祭は、昭和42年（1967年）から実施し、これまで約9万本、延べ2万名が植樹しました。平成18年（2006年）から「さっぽろふるさとの森づくり植樹祭」の名称により公園予定地で市民植樹祭を開催しています。植樹する苗木は全て企業や団体からの寄付で賄っています。

植樹祭

②札幌水源の森づくり

平成16年（2004年）から林野庁北海道森林管理局と共催で市民参加のもと、バイオブロック苗木（カミネッコン）を作成し、札幌市民の水源である定山渓国有林へ植樹しています。

札幌水源の森づくり2013

定山渓国有林

③市民メモリアル植樹

子供の誕生や結婚など、各種慶事などにあわせて森づくりに参加していただくメモリアル植樹は、平成19年（2007年）に茨戸川緑地（札幌市北区）に開園し、いつでも誰でも植樹が可能な場を市民に提供しています。

市民メモリアル植樹園

④森づくり連携協定

企業や団体が公園造成予定地に、概ね面積が2,000～10,000㎡、期間が5～10年で森づくりを行う「さっぽろふるさとの森づくりに関する協定」を札幌市と締結しています。平成25年（2013年）までの協定締結件数は9件で、各企業・団体が計画的に植樹と育樹を行っています。

企業による植樹

お問い合わせ・連絡先
札幌市環境局みどりの推進部みどりの推進課
〒060-0051　札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館6階
TEL 011-211-2522　FAX 011-211-2523

札幌市教育委員会

札幌市教育委員会では、札幌市教育推進の目標に「未来を切り拓く　人間性豊かで　創造性あふれる　自立した札幌人」を掲げ、その具現化に向けて、平成21年度より各幼稚園・学校が共通に取り組む「札幌らしい特色ある学校教育」のテーマの一つとして、「未来の札幌を見つめる【環境】」を位置付けています。

1　さっぽろっこ環境ウイーク

6月25日を「環境首都・札幌」の宣言日として、その前後2週間を環境ウイークとして設定し、その期間を中心に、全ての幼稚園及び学校が日常的に取り組んでいる環境に関わる活動、児童会や生徒会の活動などを「エコアクション」として重点的に行っています。各幼稚園及び学校が子どもの実態を踏まえて、自然環境、地域環境を生かしながら様々な環境をテーマにした活動に取り組むことを通して、幼児児童生徒に環境を守り育てようとする意欲や態度をより育むことにつなげるとともに、その取組を市民に広く周知することをねらいとして行っています。

2　エコスクール宣言

平成22年度より、各幼稚園及び学校が自校における節電、節水、ごみ減量等の日常的な取組や、教科等における環境に関する学習の様子をエコスクール宣言として公表したものを、教育委員会がエコスクール宣言校として認定し、教育委員会ホームページ上で公開することで、幼稚園・学校の取組を地域に示すとともに、学校間の取組の共有化を図り、環境教育の一層の推進に役立ててきました。現在、全ての幼稚園及び学校がエコスクール宣言をしています。

エコスクール宣言
札幌市立定山渓中学校
豊平峡ダム上流部森林において、森林が果たす役割を学び、そこで生息している動植物の調査、観察の取組

3　環境に関する学習活動研究実践

環境や太陽光発電をテーマとした教科等における学習活動や取組について、研究実践校(今年度は、小・中学校、高等学校を合わせて7校）における実践研究を行い、教育委員会ホームページ上で公開することで、各学校に研究成果を提供し、環境教育の充実を図っています。

平成24年度環境に関する学習活動研究実践
札幌市立西白石小学校の実践「調べよう望月寒川の水質と生き物」

4　さっぽろっこ農業体験

平成21年度から、農業体験をすることが少ない札幌市内の小学生が、札幌市近郊の農家の協力を得て、実際に田植えや稲作などの農業体験を行い、食料生産に係る人たちの苦労を知るとともに、実際に収穫した農作物を食することなどから、子どもが食への関心を一層高め、食の大切さへの理解をさらに深められるようにする「さっぽろっこ農業体験事業」に取り組んでいます。（今年度は市立小学校30校が実施）

平成24年度さっぽろっこ農業体験
札幌市立澄川小学校の実践「稲作にチャレンジしよう」～田植え・稲刈り体験～

お問い合わせ・連絡先
札幌市教育委員会学校教育部指導室
〒060-0002　札幌市中央区北2条西2丁目STV北2条ビル4F
TEL 011-211-3861　FAX 011-211-3862　E-mail kyoiku-shido@city.sapporo.jp

林野庁

国民の森林・国有林

国有林における森林環境教育の推進

◎　森林で遊んで、学び、楽しむ「遊々の森」

「遊々の森」は、学校などが森林管理署と協定を結ぶことにより、さまざまな体験活動や学習活動を行うフィールドとして国有林野を継続的にご利用いただく制度です。

森林管理署が予め選定した区域に応募して頂くか、利用を希望する学校等が森林管理署に相談して、「遊々の森」の箇所を決めて協定を結びます。学校教育の「社会」や「総合的な学習の時間」等において、森林内での活動を通じた子どもたちの人格形成や、幅広い知識の習得を行う森林環境教育（森林教室、林業体験、自然体験など）の場としてご利用いただけます。

※「遊々の森」については林野庁HPもご参照ください。

http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/kokumin_sanka/kyouteiseido/kyoteiseido.html

森林教室

自然体験

◎　森林・林業体験交流促進対策

森林・林業体験活動の場としてふさわしい豊かな森林環境を有し、近隣の農山漁村における体験活動とも連携が図られる国有林野において、多様な主体との連携により森林環境教育の一層の推進を図るため、平成21年度から「森林・林業体験交流促進対策」を開始しており、平成25年度は5地域で取組を進めています。

全国の森林管理局・署において、学習・体験のプログラムやフィールドの整備、関係団体等への情報提供に取り組んでいます。

森林管理局	実施地域（H25年度）
東北	山形県上山市
関東	新潟県魚沼市※
近畿中国	奈良県奈良市、鳥取県鳥取市※
九州	宮崎県日南市

※「子ども農山漁村交流プロジェクト」の受入モデル地域

お問い合わせ・連絡先

①北海道森林管理局	技術普及課	TEL	011-622-5245	URL	http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/
②東北森林管理局	技術普及課	TEL	050-3160-6456	URL	http://www/rinya.maff.go.jp/tohoku/
③関東森林管理局	技術普及課	TEL	027-210-1175	URL	http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/
④中部森林管理局	技術普及課	TEL	050-3160-6553	URL	http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/
⑤近畿中国森林管理局	技術普及課	TEL	050-3160-6753	URL	http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/
⑥四国森林管理局	技術普及課	TEL	088-821-2121	URL	http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/
⑦九州森林管理局	技術普及課	TEL	096-328-3593	URL	http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/
⑧林野庁	国有林野総合利用推進室	TEL	03-6744-2323	URL	http://www.rinya.maff.go.jp/kokuyu_rinya/

北海道森林管理局 技術普及課

北海道森林管理局における森林環境教育の取組

◎北海道森林管理局の概要

北海道は土地面積の71%が広大な森林に覆われ、全国の森林面積の22%を占めるなど、わが国を代表する豊な森林を擁する地域であり、2005年に世界自然遺産に登録された知床半島をはじめ、原始の姿を残す貴重な自然環境が今も数多く残されています。

北海道の森林面積は554万ヘクタール、北海道森林管理局が管理する国有林野は306万ヘクタールで、北海道の森林面積の55%、大雪山や日高山脈などの脊梁山地の大部分を占めています。

北海道森林管理局では、このように広大な国有林野を、水土保全をはじめ道民からの様々な要請にこたえる公共財、多様な生物の生息や生態系がある場、温室効果ガス削減に寄与する吸収源、木材の安定的な供給源として適切な管理を進めています。

知床（ポンポロ沼）

日高山脈

◎　森林環境教育の推進

子どもたちに森林の大切さや木のぬくもりを感じてもらう実践の場として国有林野を活用し、植樹・間伐など体験林業を実施したり、森林教室・木工教室を開催するなど、小中学校等教育機関と連携した取り組みを行っています。

子どもたちへの森林教室

どんぐり苗の紙ポット作成

◎　森林環境教育ガイドブックの紹介

北海道森林管理局では森林環境教育ガイドブックを作成しています。乳児から幼児を対象にしたもの、小学校を対象にしたもの、体験活動を指導される方の参考となるものなど各種そろっております。

北海道森林管理局ホームページ「森林（もり）の図書館」をご覧下さい。

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/koho/koho_net/library/index.html

簾舞（みすまい）学びの森林体験活動プログラム

お問い合わせ・連絡先
北海道森林管理局 技術普及課
〒064-8537　札幌市中央区宮の森3条7丁目70番
TEL 011-622-5245　E-mail h-shido@rinya.maff.go.jp

全国子どもサミット

協　賛　団　体

アジア航測株式会社
ASIA AIR SURVEY CO.,LTD.

公益財団法人
オイスカ北海道支部
OISCA

株式会社
森林環境リアライズ
Harmonization/調和, Innovation/革新, Aspiration/大望
HIA

住友林業

一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 道央支部

公益財団法人
ニッセイ緑の財団
GREEN

Coca-Cola
日本コカ・コーラ株式会社

一般財団法人 日本森林林業振興会 旭川支部

一般財団法人 日本森林林業振興会 旭川支部北見支所

一般財団法人 日本森林林業振興会 札幌支部

Butsurin 物林株式会社

北海道森林整備事業連合協議会

北海道木材産業協同組合連合会

mitsui garden hotels
三井ガーデンホテルズ

三菱UFJニコス
MUFG

本サミットの開催に協賛をいただいた企業等の皆様（※五十音順）

実　行　委　員　会

公益社団法人 国土緑化推進機構

公益社団法人 北海道森と緑の会

一般財団法人 日本森林林業振興会 札幌支部

一般財団法人 日本森林林業振興会 旭川支部

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 道央支部

公益財団法人
オイスカ北海道支部
OISCA

NPO法人
森林遊びサポートセンター

北海道

北海道教育委員会

札幌市

札幌市教育委員会

林野庁

北海道森林管理局

石狩森林管理署

石狩地域森林ふれあい推進センター

集合写真

2013年8月6日　札幌市アイヌ文化交流センター

みんなで植えたミズナラの葉っぱが、この報告書の中に15枚かくれています。
どこにかくれているか、さがしてみてね～。

本報告書に関する《お問い合わせ先》

「学校林・遊々の森」全国子どもサミット in 北海道 実行委員会 事務局

北海道森林管理局 技術普及課

〒064-8537　北海道札幌市中央区宮の森3条7丁目70
TEL 011-622-5245　　FAX 011-614-2654　　E-mail：h_shido@rinya.maff.go.jp

主催　「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin北海道　実行委員会

構成　NPO法人 森林遊びサポートセンター　一般財団法人 日本森林林業振興会札幌支部／旭川支部　一般社団法人 全国森林レクリエーション協会道央支部　公益社団法人 北海道森と緑の会　公益財団法人 オイスカ　公益社団法人 国土緑化推進機構　北海道　北海道教育委員会　札幌市　札幌市教育委員会　林野庁　北海道森林管理局　石狩森林管理署　石狩地域森林ふれあい推進センター

後援　文部科学省・環境省北海道地方環境事務所・北海道新聞社・北海道通信社